

「第2次美里町総合計画・美里町総合戦略」（案）の概要について （令和3年度から令和7年度まで）

1 将来目標の継続

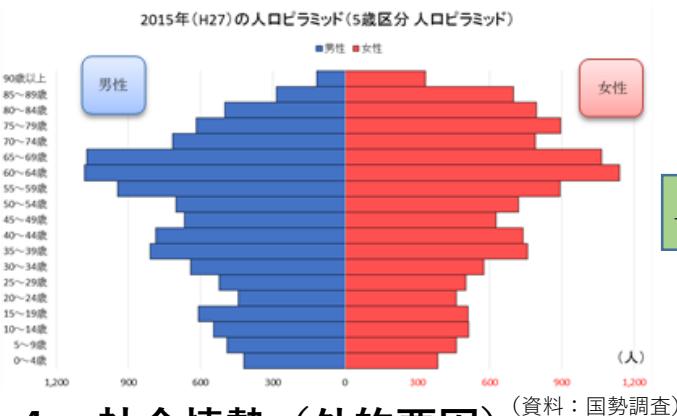
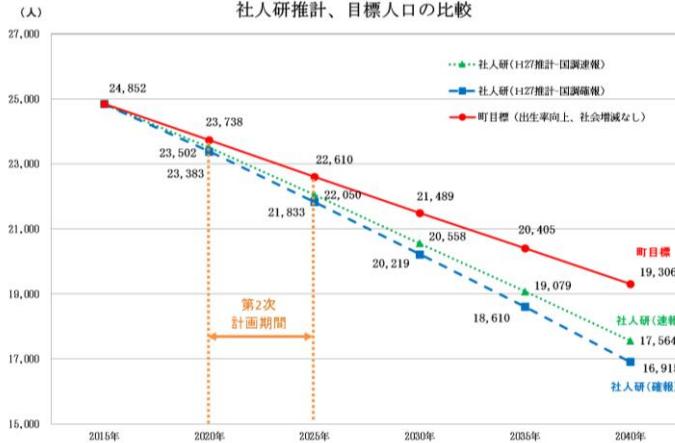
➤将来像

「心豊かな人材を育み、地域産業が発展し、にぎわいのある、生き生きとした暮らしができるまち」

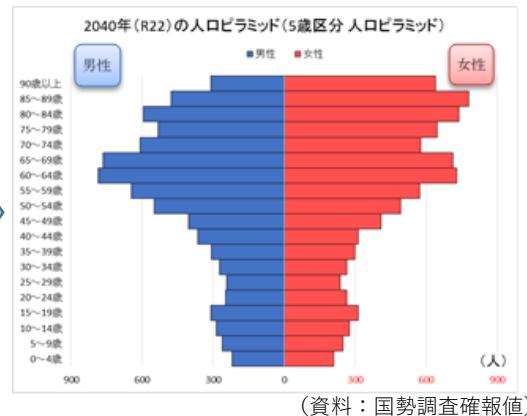
➤目標人口

19,306人（2040年）

2 人口推移（2040年）



見通し



4 社会情勢（外的要因）

(資料：国勢調査)

(資料：国勢調査確報値)

人口の減少、少子高齢化、人口の首都圏への一極集中といった社会情勢下における人口問題、インフラ・公共施設の経年劣化への対応、近年、多発する災害に対応するための国土強靱化、社会保障費の増大や幼児教育・保育の無償化といった行政需要の高まりが予想される。

このような中で、SDGsといった持続可能な開発目標といった世界規模の取組、我が国が提唱する経済発展と社会的課題の解決を調律するSociety5.0により目指すべき未来社会が提唱されている。

5 5年間の取組の方向性

団塊の世代が後期高齢者となる2025年問題といった人口問題に直面する期間となる。また、転入者数の増加につながっていた駅東地区の分譲地の販売が終了したことから、これまでのような転入者数の確保は難しい。計画期間中、大規模事業として55億円を投入する新中学校建設に取り組むため、その他の分野において積極的な財政出動は難しい5年間となる。このような中で、社会保障費は引き続き増加傾向にあることから、歳入の確保と歳出抑制に努めなければならない。財政の健全化に努めながら、政策を実現できるよう、積極的に外部の専門性、民間活力の活用を図ることとし、持続可能なまちづくりを目指す。

第1に、新中学校建設を推進する。また、学校の教育現場での人員確保に引き続き取り組みながら、ESDを踏まえた環境、平和、国際化、地域文化などの多様な学習機会を設け、ICT教育環境の充実と併せて将来を担う人材の育成に努める。

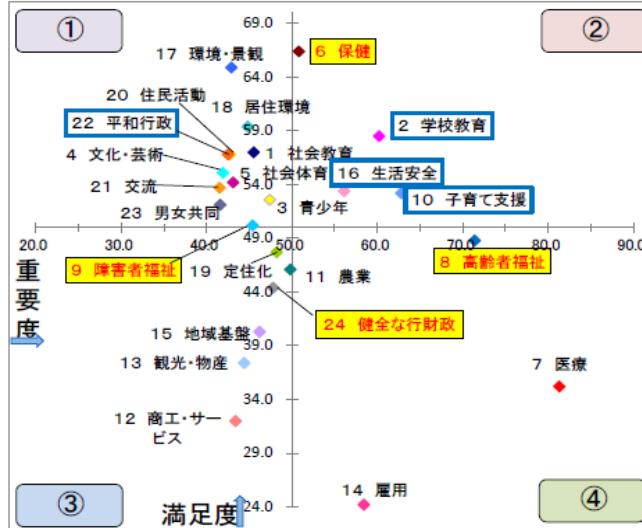
第2に、幼児教育・保育の無償化による保育ニーズの高まりに対応するため、少子化の傾向を踏まえつつ、保育所・幼稚園の施設運営の在り方を検討し、待機児童解消となる保育環境を整える。また、同様にニーズの高まりが見込まれる放課後児童クラブの運営については、公共施設の有効な活用視点を持ちながら持続可能な受け入れ態勢を確立する。

第3に、引き続き多様な生産者の確保、産地化、ブランド化、商品開発や販路拡大等に取り組み、農林水産業の競争力強化を図る。また、起業・創業の創出や地域経済の屋台骨である中小企業の活動支援を通じて、農村社会の持続性の確保に努める。さらには、観光資源の掘り起しに努め、観光入込客数や交流人口の増加を目指す。

第4に、高齢者福祉、障害者福祉、医療確保に要する社会保障分野の行政需要の増加に対応する。また、ふるさと納税件数の増加、美里町と縁をつぐむきっかけとなる交流機会の創出に取り組むながら、引き続き若者の定住奨励に努める。

3 住民意向調査の動向

【H27】



【重要度】※「()」は、前回調査

・上位

1位「医療(1)」、2位「生活安全(6)」、3位「高齢者福祉(2)」、4位「学校教育(4)」、5位「子育て支援(3)」となっている。

・下位

「男女共同参画」「交流の促進」「平和行政」「住民活動の推進」などで前回と大きな変動は無い。

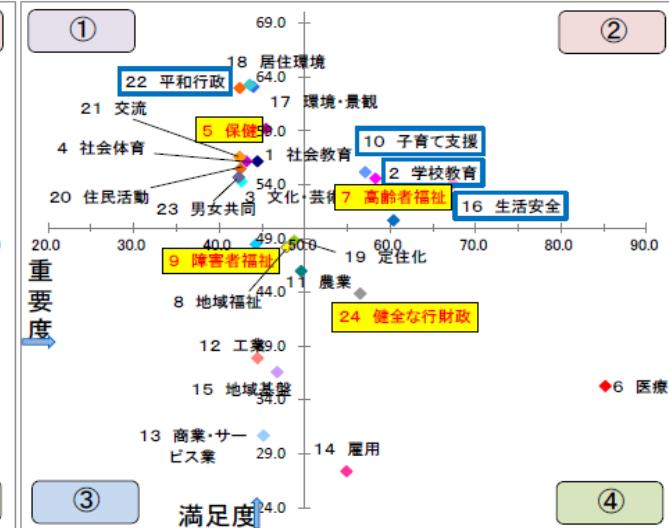
・傾向

社会情勢を反映してか「生活安全」や「健全な行財政」の重要度、順位ともに高くなっている。

【重要度・満足度】

- ・「医療」「雇用」は、重要度が高く、満足度が低いという傾向に変化はない。
- ・「生活安全」「学校教育」「子育て支援」は、引き続き重要度・満足度ともに高い。
- ・「農・商・工業」の満足度は、引き続き低調で重要度も高くはない。

【R1】



【満足度】※「()」は、前回調査

・上位

1位「居住環境(3)」、2位「環境・景観(2)」、3位「平和行政(6)」、4位「保健(1)」、5位「交流の促進(10)」となっている。

・下位

「雇用」「商業サービス」「医療」「地域基盤」などで前回と大きな変動は無い。

・傾向

「学校教育」「保健」は順位を下げたが、「子育て支援」は満足度、順位ともに高くなっている。

6 4つの主要課題を解決するための基本的方向



【教育環境の充実と人材の育成】



- 取組の基本的方向

児童生徒が等しく安心して学校生活を送り、学校での様々な活動を楽しむことができる教育環境を整えます。幅広い知見と自主性、社会性、国際性を身に付け、自ら考え行動し、同時に、人との支え合いを大切にし、ふるさとに誇りをもつ人間の育成を進めます。
- 重点実施施策の取組概要

学校教育の充実 (KPI: 満足度) 基準値を設定し基準値以上(前年度実績値以上)を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・ESD(持続可能な開発のための教育)を踏まえた学習の推進 ・総合学習、キャリア教育の充実 ・学力の向上
教育を振興するための基盤整備 (KPI: 満足度) 基準値を設定し基準値以上(前年度実績値以上)を目指します。	<ul style="list-style-type: none"> ・新中学校の建設 ・ICT教育の推進 ・通学等子どもの安全確保対策

【子育て環境の整備】



- 取組の基本的方向

女性の就労ニーズの高まりによる保育ニーズを的確に捉え、働きながら子育てをする世代が安心して子どもを生み育てられるよう、社会情勢の変化を捉えながら、子育て環境の充実、妊娠期から切れ目のない保健活動、子育て相談等の取組を推進し、子育てをしっかりと応援します。
- 重点実施施策の取組概要

健やかな母子保健活動の推進 (KPI: 乳幼児健診受診率) H30-95.9%⇒R7-95%以上 (KPI: 3歳児のむし歯本数/人) H30-0.96本⇒R7-1本以下 (KPI: 不妊治療助成申請件数及び治療に関する相談件数) H30-12件⇒R7-20件	<ul style="list-style-type: none"> ・切れ目のない相談体制 ・新生児訪問 ・不妊治療支援 ・健康診査、予防接種の推進
働きながら子育てする家族を支援するための対策(KPI: 待機児童数) H30-38人⇒R7-0人	<ul style="list-style-type: none"> ・保育環境の拡充、幼保連携の推進 ・認可外保育の支援 ・放課後児童クラブの運営 など
子育てに不安な家族を支援するための対策 (KPI: 子育て支援センター利用者数) H30-8,874人⇒R7-8,500人 (KPI: 子育て支援センター利用登録者数) H30-279人⇒R7-250人	<ul style="list-style-type: none"> ・相談体制の確保 ・事業開催等による利用推進 ・多様なサポート体制の検討

【地域産業の発展と雇用の確保】

- 取組の基本的方向

産業間相互の連携を促進することにより、民間の創意工夫による商品開発、交流人口の掘り起こしなど、付加価値の創出と所得向上の仕組みづくりを推進します。また、地域経済に新たな流れを生むプラットフォームの形成を進め、産業・経済基盤の確立を図ります。
- 重点実施施策と取組の概要

担い手の確保と魅力ある農業の展開 (KPI: 集落営農組織の法人化数(累計)) H30-8法人⇒R7-11法人 (KPI: 10ha規模の土地利用型野菜及び5ha規模の施設園芸作物の品目数) H30-1品目⇒R7-3品目	<ul style="list-style-type: none"> ・多様な生産者の確保、農業経営の安定化対策 ・農地の高度利用による産地形成 ・魅力ある農業の推進
商工業を振興するための対策 (KPI: 町内の製造品等出荷額) H30-319億円⇒R7-320億円 (KPI: 遠田商工会の会員数) H30-462事業所⇒R7-460事業所 (KPI: Kiribi(シェアオフィス)年間利用回数(延べ)) H30-476回⇒R7-900回	<ul style="list-style-type: none"> ・町内企業及び事業者の経営安定化支援 ・新たな「しごと」創出に向けた「Kiribi」の利用促進 ・高齢者の就労支援

【人口減少の抑制と高齢社会への対応】



- 取組の基本的方向

転入者、特に若者の移住・定住を進めるとともに、転出者の抑制に努めます。さらに、高齢者が「生きがい」、「やりがい」を持って、安心して、生き生きと暮らすための取組を進めます。
- 重点実施施策の取組概要

高齢者が安心して暮らすための対策 (KPI: 要介護、要支援認定を受けていない高齢者の割合) H30-81.9%⇒R7-81.6%	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の社会活動支援、自立生活支援 ・高齢者の相談対応 ・一人暮らし高齢者の見守り支援 ・介護保険の各種給付、地域支援
公共交通網を確立するための対策 (KPI: 住民バス、デマンドタクシー利用者の満足度) H30-72.0%⇒R7-基準値72.4%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・住民バスの運行 ・デマンドタクシーの運行 ・免許返納者への回数券支給
定住化を促進するための対策 (KPI: 総人口に占める生産年齢人口の割合) H30-54.6%⇒R7-52.4%	<ul style="list-style-type: none"> ・定住奨励 ・出会い及び交流機会の提供 ・不妊治療支援(※再掲)

7 5つの分野ごとの取組

※SDGsとは、2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals)」の略称であり、貧困、紛争や気候変動など、全世界の共通課題の解決に向けた17のゴール、169のターゲットから構成されます。



【生涯を通して学び楽しむまちづくりの概要】

●【政策1】教育の推進

- ・学力の向上
- ・いじめ防止、心のケアの充実
- ・特別支援教育の充実
- ・総合学習、キャリア教育の充実
- ・グローバルに活躍する人材の育成（国際化、文化・芸術）

→ ・ユネスコスクールなどへの加盟

●【政策2】教育環境の整備

- ・不登校の解消に向けた取組
- ・ICT教育の推進
- ・新中学校建設の推進

→ ・新中学校建設の推進

※Society5.0とは、仮想空間と現実空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会であるとし、国が目指すべき未来社会として提唱された。



【自立をめざすまちづくりの概要】

●【政策12】健全な行財政運営

- ・指定管理者制度など民間活力の活用の推進
- ・職員数の適正管理及び職員研修の実施
- ・意見、要望の取り扱いの徹底
- ・窓口サービスの利便性の向上

→ ・経常収支（人件費）の抑制

- ・多様な納付方法による利便性の向上
- ・滞納者への電話催告、納付相談
- ・公共施設マネジメントの推進
- ・町有未利用地の利活用
- ・ふるさと納税の推進

→ ・徴収率の向上
・公共施設の長寿命化、複合化、除却

生涯を通して
学び楽しむ

自立を
めざす

心豊かな人材を
育み、地域産業が発
展し、にぎわいのあ
る、生き生きとした
暮らしができるまち

健やか
で安心

くらしやすさ
を実感できる

力強い産業が
いきづく

【健やかで安心なまちづくりの概要】

●【政策3】保健・医療の充実

- ・保健、母子保健活動の推進
- ・地域医療、救急医療対背の充実

→ ・特定健診、内臓脂肪症候群該当者の抑制

●【政策4】福祉の充実

- ・高齢者が安心して暮らすための対策
- ・地域で支え合う社会の充実
- ・安心して暮らせる地域づくりの推進

→ ・要介護、要支援認定を受けていない高齢者の割合の上昇

●【政策5】子育て支援の充実

- ・働きながら子育てを行う家族を支援
- ・子育てに不安な家族を支援するための対策
- ・児童虐待を防止する対策

→ ・待機児童の解消

【くらしやすさを実感できるまちづくりの概要】

●【政策8】生活安全の確保

- ・防災、消防、救急体制の確立
- ・交通、防犯体制の確立

→ ・災害時の電源、通信手段の確保

●【政策9】生活環境の保全

- ・道路橋りょう整備、排水対策
- ・バス等の運行といった公共交通網の確立
- ・ごみの減量対策、CO2削減
- ・上水道の安定供給、下水道の整備推進
- ・定住化の促進

→ ・ごみの減量化
・若者の定住促進

●【政策10】住民活動の促進

- ・地域づくり支援、地域間交流の推進

→ ・関係、交流人口の増加

●【政策11】平和行政の推進

- ・中学生の長崎派遣など

→ ・参加者数の確保

【力強い産業がいきづくまちづくりの概要】

●【政策6】農業の振興

- ・多様な生産者の確保、農業経営の安定化対策
- ・農地の高度利用、産地形成、魅力ある農業の推進
- ・環境保全型農業、農産物の付加価値向上の取組を支援
- ・畜産経営の安定化支援
- ・農村機能及び生産基盤の維持（ほ場整備、基幹水利施設管理）

→ ・法人化支援
・10ha規模の土地利用型野菜、5ha規模の施設園芸作物の増加

●【政策7】商工業、観光物産の振興

- ・町内企業、事業者の経営安定化支援
- ・遠田商工会の運営支援、起業創業支援
- ・シルバー人材センターの運営支援
- ・物産販売の促進、催事やイベントの開催支援
- ・農産物等の付加価値創出
- ・農産物直売所や交流の森・交流館の運営

→ ・シルバー人材センター、遠田商工会会員の確保
・製造品等出荷額の維持
・観光客入込数の確保
・新商品開発支援